

ゆり通信

2020年 3月 第6号

いよいよ3月。卒園の嬉しさと寂しさが入り交じったカウントダウンが始まりました。

これまで一緒に泣いたり、笑ったりした分、かけがえのない仲間になりました。子ども達との残りの園生活も楽しく、そして元気に過ごしていきたいと思えます。

なわとび会 頑張ったね！！

先日のなわとび会では1人ひとりがベストを尽くすことができました。練習を始めるもののリズムよく縄が回せずもどかしい様子が見られたり、「できない…」と悔し涙を見せる子もいました。

しかし、そこで諦めることなく練習を重ねるたびに上達し日に日に記録を伸ばしていた子ども達。リズムよく跳べるようになると「できた！」「次は〇回頑張る」と意欲もより高まり毎回、手の甲に回数を書いてもらうのを楽しみにしていました。新記録が出た時には、「ママにも言ってね」という声もたくさん聞かれ、手を洗う時も消えないように慎重に洗っていました。

当日は、日々の努力が実を結び自己新記録を出す子が続々と！！最後に一人ずつ賞状をもらおうと達成感に満ち溢れたとてもいい表情をたくさん見せてくれた子ども達です。

1つ1つの行事を終えるたびに出来るが増えるのはもちろん、お友達にも跳び方を分かりやすく教えてあげたり、出来た時には自分のことのように喜んだり、心も大きく成長した子ども達の姿を嬉しく思いました。

ゆり組 大好き♡

元気で明るく、お手伝いが大好きなゆり組の子ども達と過ごした日々は、とても楽しくたくさんパワーをもらいました。

行事を迎えるたびにクラスが1つとなりチームワークを一層深めていく事も出来ました。本当に仲の良いクラスになりました。

春、短い練習の中で競技はもちろん、鼓笛・パラバルーンと全員で力を合わせて頑張った運動会。また、跳び箱、鉄棒では一人ひとりの頑張る姿をたくさん見ることが出来ました。

夏、楽しみにしていた海洋センターには天気に恵まれず残念そうにしていた子ども達。行けた時には、水に怖がることなくダイナミックに楽しんでいました。ゆり組の恒例行事でもあるお泊り保育。体調を崩してしまう子もいて全員でお泊り出来なかったのが残念でしたが、ドキドキしながらも頑張ってお泊りし、翌朝には「楽しかった！」と言う声も多く聞かれ、嬉しく思いました。

秋、消防署見学、七五三参りに行ってきました。消防署では初めて目にする物ばかりで子ども達の瞳が輝いていました。七五三参りでは、神聖な場所にちよっぴり緊張しつつも、神主さんの話をよく聞くことができました。

冬、クリスマス会では各グループ意欲的に取り組み、堂々と発表する姿に、胸がいっぱいになりました。

子ども達と過ごした1年間は私の大切な宝物です。保護者の皆様のご支援・ご協力に感謝致します。お子さんが泣いて登園する姿や行事で壁にぶつかる姿に、心配になったり不安になったりされたかと思いますが、毎日明るく「いってらっしゃい」「頑張ってるね」と励まし、送り出して下さりありがとうございました。

心も体も大きく成長した子ども達。至らない点多々あったかと思いますが、ゆり組担任であったことを誇りに思い、心から幸せを感じています。

